

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2004年9月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みませぬ。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（9月30日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・インド株式オープン

第17期（決算日 2021年9月30日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込	期中	投資信託証券 組入比率	純資産額
		分配金	騰落率		
13期 (2017年10月2日)	円 14,884	円 1,000	% 28.4	% 98.4	百万円 91,671
14期 (2018年10月1日)	14,937	0	0.4	96.5	91,568
15期 (2019年9月30日)	13,836	0	△ 7.4	98.6	81,654
16期 (2020年9月30日)	13,334	0	△ 3.6	98.0	68,759
17期 (2021年9月30日)	20,282	1,000	59.6	98.6	77,293

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	投資信託証券	
		騰落率	組入比率
(期首) 2020年9月30日	円 13,334	% —	% 98.0
10月末	13,344	0.1	98.6
11月末	14,451	8.4	98.7
12月末	15,543	16.6	99.2
2021年1月末	16,157	21.2	98.5
2月末	17,689	32.7	99.1
3月末	18,131	36.0	98.4
4月末	17,721	32.9	99.2
5月末	18,848	41.4	98.8
6月末	19,263	44.5	98.9
7月末	19,379	45.3	98.7
8月末	20,569	54.3	99.2
(期末) 2021年9月30日	21,282	59.6	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2020年10月1日～2021年9月30日)



第17期首	13,334円
第17期末	20,282円 (既払分配金1,000円)
騰落率	59.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・投資対象ファンドを通じて保有する株式が上昇したこと。

インド株式市場

期初からインドでは新型コロナウイルス感染症の第一波がピークを打ち、経済指標の回復が見られたことで、株式市場は上昇して始まりました。2021年1月には世界的に株式市場が調整する中、インド市場も調整を余儀なくされました。しかし、2月初旬に発表された2021/22年度（2021年4月～2022年3月）の予算案で、債務削減よりも経済成長にフォーカスした内容であったことが好感され再び上昇しました。4月にはインド国内で新型コロナ感染第二波が嫌気されて株価が調整する局面も見られましたが、その後は新規感染者数の増加ペースの鈍化を受けて感染拡大のピークは近いとの期待から株価は上昇に転じました。8月にはマクロ経済指標が景気回復を示唆する内容であったこと、さらに低金利環境の継続期待やモディ政権による大規模インフラ計画の着手などが材料視され、インド株式市場は期末にかけて上昇基調を強め、通期でも上昇しました。

為替市場

インドルピーは、2020年11月に米国の財政赤字拡大懸念などを背景とした米ドル安が進行したことから米ドルに対して上昇しました。2021年4月にはインド国内で新型コロナ感染第二波が嫌気されて対米ドルで下落する局面が見られましたが、その後は1日当たりの新規感染者数がピークに近いとの期待から上昇し、4月の下落分を概ね取り戻しました。6月に原油価格の上昇などを背景に対米ドルで下落したのち、8月には国内インフレ率の落ち着きを好感して上昇しましたが、通期では対米ドルで小幅な下落となりました。

一方で日米長期金利差拡大などを受け円安米ドル高となったことから、通期でルピー高円安となりました。

国内債券市場

2021年2月に米国長期金利の上昇に連れて日本国債利回りも上昇（価格は下落）しました。3月の日銀の金融政策決定会合では緩和策の柱である長短金利操作の大枠を維持した上で、長期金利の変動幅を広げるなど、政策の微調整を決定しました。その後レンジ内の推移となりましたが、9月には米国長期金利が再び上昇したことから日本国債利回りも上昇しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の

組入れを減らしました。

個別銘柄では、インド政府が銀行の不良債権問題に対処する方針を示したことが好感され上昇したICICI銀行や、輸出向け鉄鋼需要の改善を背景に鉄鋼価格の値上げが好感され上昇したタタ・スチールの保有がプラス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第17期	
	2020年10月1日 ～2021年9月30日	
当期分配金	(円)	1,000
（対基準価額比率）	(%)	4.699
当期の収益	(円)	1,000
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	10,881

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・エクイティ・オープン組入比率を高位に保つことを基本とします。

インド・エクイティ・オープン

インド経済については強気の長期見通しを維持しています。新型コロナウイルスの影響による景気減速は予想を大きく上回っているものの、米中の地政学的な緊張の高まりからインド経済は恩恵を受ける可能性があると考えています。インドへの直接投資（FDI）は流入が続いており、米国や日本、その他の国でも製造拠点をインドに移す動きがあります。インド政府が外国企業の誘致政策を速やかに打ち出すことで海外からの投資がさらに加速す

る可能性があり、設備投資の拡大等がインド経済を活性化させると考えます。また今年度の予算案の内容はインドの企業業績を後押しするものとみており、今後の業績回復が強く期待されます。引き続き、ファンダメンタルズが強固で割安な銘柄に着目しながら、選別投資を行う方針です。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1万口当たりの費用明細

(2020年10月1日～2021年9月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	230円	1.350%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、17,035円です。
(投信会社)	(94)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(131)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	230	1.352	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

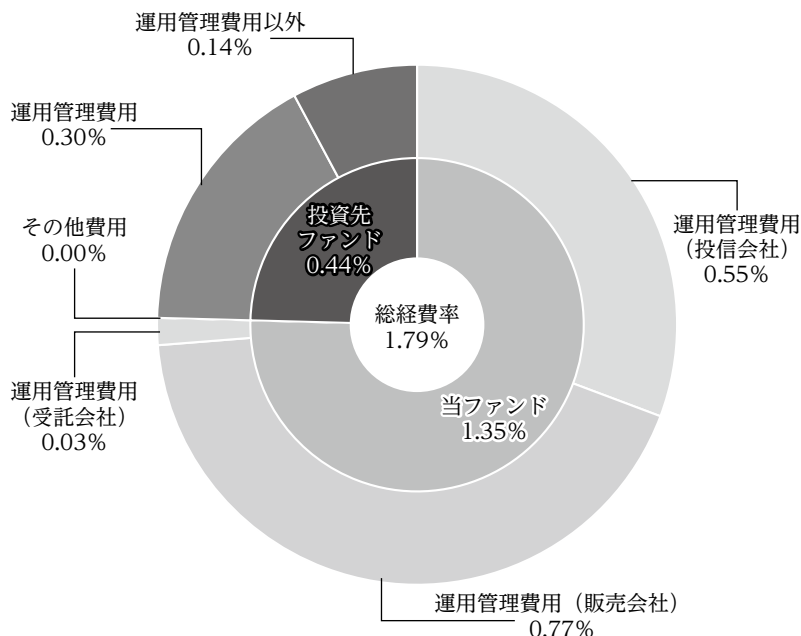
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



総経費率 (①+②+③)	1.79%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.30%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2020年10月1日から2021年9月30日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・ インベストメンツ・インディア・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			—	—	5,401	254,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2020年10月1日から2021年9月30日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2021年9月30日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	401,177	401,177	431,827	0.6
合 計	401,177	401,177	431,827	0.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千米ドル	千円	%
イーストスプリング・インベストメンツ・ インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	17,705	12,304	677,161	75,787,879	98.1
合 計	17,705	12,304	677,161	75,787,879	98.1

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2021年9月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	431,827	0.5
投 資 証 券	75,787,879	92.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 ・ そ の 他	5,697,343	7.0
投 資 信 託 財 産 総 額	81,917,049	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(76,795,159千円)の投資信託財産総額(81,917,049千円)に対する比率は93.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年9月30日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.92円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年9月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	82,917,358,968円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,690,063,233
投資信託受益証券(評価額)	431,827,311
投資証券(評価額)	75,787,879,124
未 収 入 金	2,007,589,300
(B) 負 債	5,624,243,871
未 払 金	1,007,264,800
未 払 収 益 分 配 金	3,810,954,685
未 払 解 約 金	290,110,601
未 払 信 託 報 酬	515,108,037
未 払 利 息	13,748
そ の 他 未 払 費 用	792,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	77,293,115,097
元 本	38,109,546,850
次 期 繰 越 損 益 金	39,183,568,247
(D) 受 益 権 総 口 数	38,109,546,850口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,282円

(注1) 元本の状況

期首元本額	51,566,461,181円
期中追加設定元本額	4,485,901,496円
期中一部解約元本額	17,942,815,827円

(注2) 1口当たり純資産額は2.0282円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2020年10月1日 至2021年9月30日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,190,458円
支 払 利 息	△ 1,190,458
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	29,581,723,272
売 買 益	35,321,885,711
売 買 損	△ 5,740,162,439
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,014,337,676
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	28,566,195,138
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,626,765,999
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	17,055,093,793
(配 当 等 相 当 額)	(19,337,359,123)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,282,265,330)
(G) 計 (D+E+F)	42,994,522,932
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,810,954,685
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	39,183,568,247
追 加 信 託 差 損 益 金	17,055,093,793
(配 当 等 相 当 額)	(19,337,359,123)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,282,265,330)
分 配 準 備 積 立 金	22,129,664,912
繰 越 損 益 金	△ 1,190,458

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換換によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(23,840,535,158円)、信託約款に規定する収益調整金(19,337,359,123円)および分配準備積立金(2,100,084,439円)より、分配対象収益は45,277,978,720円(10,000口当たり11,881円)であり、うち3,810,954,685円(10,000口当たり1,000円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決 算 期	第 17 期
1 万口当たり分配金（税引前）	1,000円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド		
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型		
表示通貨	米ドル		
運用の基本方針	インドの株式を主な投資対象とし、中長期的なトータル・リターンを最大限の獲得を目指した運用を行います。		
主な投資対象	インドの金融商品取引所に上場されている株式		
ベンチマーク	MSCI India Total Return Net Index (MSCIインド指数 (税引き後配当再投資)) ※1		
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited	
手数料等	申込手数料	ありません。	
	運用報酬	(純資産額50万米ドル以下の部分)	年率0.35%
		(純資産額50万米ドル超の部分)	年率0.30%
	管理報酬等	年率0.25% (上限)	
上記には、監査費用、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が含まれます。			
設立日	2004年9月29日		
決算日	毎年8月31日		

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)		
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募		
表示通貨	日本円		
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。		
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債		
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※2		
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド	
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 		
申込手数料	ありません。		
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)		
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。		
信託設定日	2002年8月26日		
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)		

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2020年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

純損益及びその他包括利益計算書

2020年8月31日に終了した事業年度

米ドル

収益

受取配当金	9,239,458
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	(30,208,984)
投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	60,738,599
	<hr/>
	39,769,073
	<hr/>

費用

運用報酬	(2,163,777)
保管銀行費用	(490,059)
計算事務費用	(196,040)
管理費用	(160,676)
専門家報酬	(8,767)
監査報酬	(44,193)
税金手数料	(53,981)
取引手数料	(31,320)
銀行手数料	(12,091)
免許登録費用	(5,300)
売買委託手数料	(1,802,713)
外国為替取引に係る純利益（損失）	210,576
	<hr/>
	(4,758,341)
	<hr/>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	35,010,732
税金	(3,640,756)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<hr/>
	31,369,976
	<hr/>

投資有価証券明細表

2020年8月31日現在の上場株式

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資 産比率 (%)
株式:				
Aditya Birla Fashion and Retail Limited	3,873,057	9,927,824	7,362,456	1.04%
Aditya Birla Fashion and Retail Limited (Partially paid)	452,694	332,069	480,712	0.07%
Axis Bank Limited	2,767,051	19,782,111	18,676,958	2.63%
Bharti Airtel Limited	4,131,115	27,023,324	28,801,851	4.06%
Bank Of Baroda	6,633,709	11,675,260	4,412,251	0.62%
Cipla Limited	1,880,910	15,624,728	18,236,585	2.57%
CREDITACCESS GRAMEEN LIMITED	928,019	5,439,828	9,050,679	1.28%
Crompton Greaves Consumer Electricals Limited	3,344,030	11,782,261	12,350,107	1.74%
Fortis Healthcare Limited	4,654,484	8,706,682	8,398,867	1.18%
Gujarat Pipavav Port Limited	4,584,810	8,866,464	4,980,706	0.70%
Hero MotoCorp Limited	408,398	18,886,190	16,681,339	2.35%
Hindustan Unilever Limited	685,835	19,589,880	19,731,650	2.78%
Hindustan Zinc Limited	3,401,986	11,284,475	10,474,747	1.48%
Housing Development Finance Corporation Limited	1,641,291	28,759,539	40,869,975	5.76%
ICICI Bank Limited	10,056,025	47,290,231	53,918,093	7.60%
ICICI Lombard General Insurance Company Limited	1,137,160	18,925,641	19,417,991	2.74%
Indian Energy Exchange Limited	4,491,164	10,370,756	11,768,732	1.66%
Infosys Limited	5,207,930	38,858,985	65,712,035	9.26%
ITC Limited	1,166,164	4,040,849	3,028,108	0.43%
Larsen & Toubro Limited	1,683,463	23,820,164	21,615,411	3.05%
Mahanagar Gas Limited	705,797	6,407,687	9,129,939	1.29%
Mahindra & Mahindra Financial services Limited	7,701,008	10,214,011	14,095,039	1.99%
Mahindra & Mahindra Limited	950,605	7,090,628	7,839,139	1.10%
Marico Limited	3,600,703	14,594,076	18,048,747	2.54%
Maruti Suzuki India Limited	38,855	2,733,941	3,611,195	0.51%
Max Financial Services Limited	1,733,382	8,937,658	13,878,578	1.96%
Mindtree Limited	1,174,740	12,143,844	18,448,317	2.60%
Mphasis Limited	692,809	6,902,663	10,389,061	1.46%
The Ramco Cements Limited	1,258,272	14,140,081	11,849,232	1.67%
Reliance Industries Limited	2,334,014	23,373,059	65,987,857	9.30%
Sterling And Wilson Solar Limited	1,045,043	10,116,562	3,589,025	0.51%
Sun Pharmaceutical Industries Limited	3,551,048	27,916,652	25,102,659	3.54%

銘柄	株数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資 産比率 (%)
Sun TV Network Limited	1,989,957	15,268,197	12,237,969	1.72%
TATA CONSUMER PRODUCTS LIMITED	2,716,345	12,269,643	19,648,676	2.77%
Tata Consultancy Services Limited	1,301,661	25,660,422	39,923,504	5.63%
Tata Motors Limited	4,678,121	21,159,007	9,102,602	1.28%
Tata Motors Limited- DVR	5,719,441	15,858,375	3,959,578	0.56%
Tata Steel Limited	2,329,167	11,512,977	13,070,788	1.84%
Tata Steel Limited (Partially paid)	164,612	385,665	129,059	0.02%
Zee Entertainment Enterprises Limited	5,393,926	18,825,771	14,918,570	2.10%
		606,498,180	690,928,787	97.36%
その他資産			18,703,324	2.64%
純資産			709,632,111	100.00%

「イーストスプリング・インド株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/2/26 ～2021/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,811円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2021年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	599,500	629,471	91.5	—	50.8	23.7	17.0
合 計	599,500	629,471	91.5	—	50.8	23.7	17.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第313回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第315回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,020	2021/03/20
	第351回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,080	2021/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,273	2028/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,212	2029/03/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	90,000	89,874	2030/06/20
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	40,721	2021/12/20
	第60回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,817	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	52,195	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	47,755	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,762	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	41,548	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	61,262	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	56,493	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	27,500	32,452	2030/03/20	
合 計			599,500	629,471	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。